



2021年5月14日

各位

会社名 株式会社 シンクロ・フード
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 藤代真一
兼事業部長 (コード番号：3963 東証第一部)
問合せ先 取締役兼執行役員管理部長 森田勝樹
(TEL. 03-5768-9522)

減損損失(連結決算)および子会社株式評価損(個別決算)の計上ならびに
連結業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)において、下記の特別損失を計上するとともに、2021年3月期業績につきまして前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、当社は当該期間に係る業績予想を公表していないため、増減につきましては実績値との比較となっております。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 減損損失(連結決算)について

当社の連結子会社である株式会社ウィット及び株式会社ニコシゴトの業績が、当初想定していた計画を下回って推移したことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、のれんの全額を減損処理いたしました。のれん減損等合わせて32百万円を特別損失として計上しております。株式会社ウィットは飲食業特化のM&A仲介事業を行っておりますが、2021年1月の2回目の緊急事態宣言発令以降、案件成約のリードタイムが長期化していること等も勘案して判断しております。また、株式会社ニコシゴトは主にブライダル業界において副業マッチング事業を行っておりますが、ブライダル業界に対する新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、先行きが不透明な状況等も勘案して判断しております。

(2) 子会社株式評価損(個別決算)について

当社は2021年5月14日付で公表した「連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ」のとおり、2021年7月1日を効力発生日として、株式会社シンクロ・キャリアを吸収合併することを予定しております。この吸収合併および上記1.(1)に伴い、個別決算において子会社株式評価損および貸倒引当金繰入額を、特別損失として136百万円を計上しております。なお、子会社株式評価損および貸倒引当金繰入額は連結財務諸表においては消去されるため、連結業績への影響はございません。

2. 2021年3月期通期連結業績と前期実績値との差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A)	百万円 2,014	百万円 557	百万円 557	百万円 287	円 銭 10.78
当期実績値(B)	1,188	△169	△156	△177	△6.69
差異額(B-A)	△825	△726	△713	△464	—

差 異 率 (%)	△41.0	—	—	—	—
-------------	-------	---	---	---	---

(2) 差異の理由

2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の飲食業への影響は深刻化しておりますが、前期が約2ヶ月間の影響であった一方で、当期は2回の緊急事態宣言期間及び営業時間短縮要請期間が約6ヶ月間に渡りました。そのため、特に人手不足を背景に成長してまいりました当社の主力サービスである求人広告サービスが、計画を大きく下回って推移し、売上高が大きく減少いたしました。このような状況下で、販売管理費の削減に努めましたが売上高の減少をカバーするには至らず、結果として各利益が大きく前期より減少しております。なお、2021年3月期の連結業績の詳細につきましては、2021年5月14日付公表の「2021年3月期 決算短信」を参照ください。

以 上